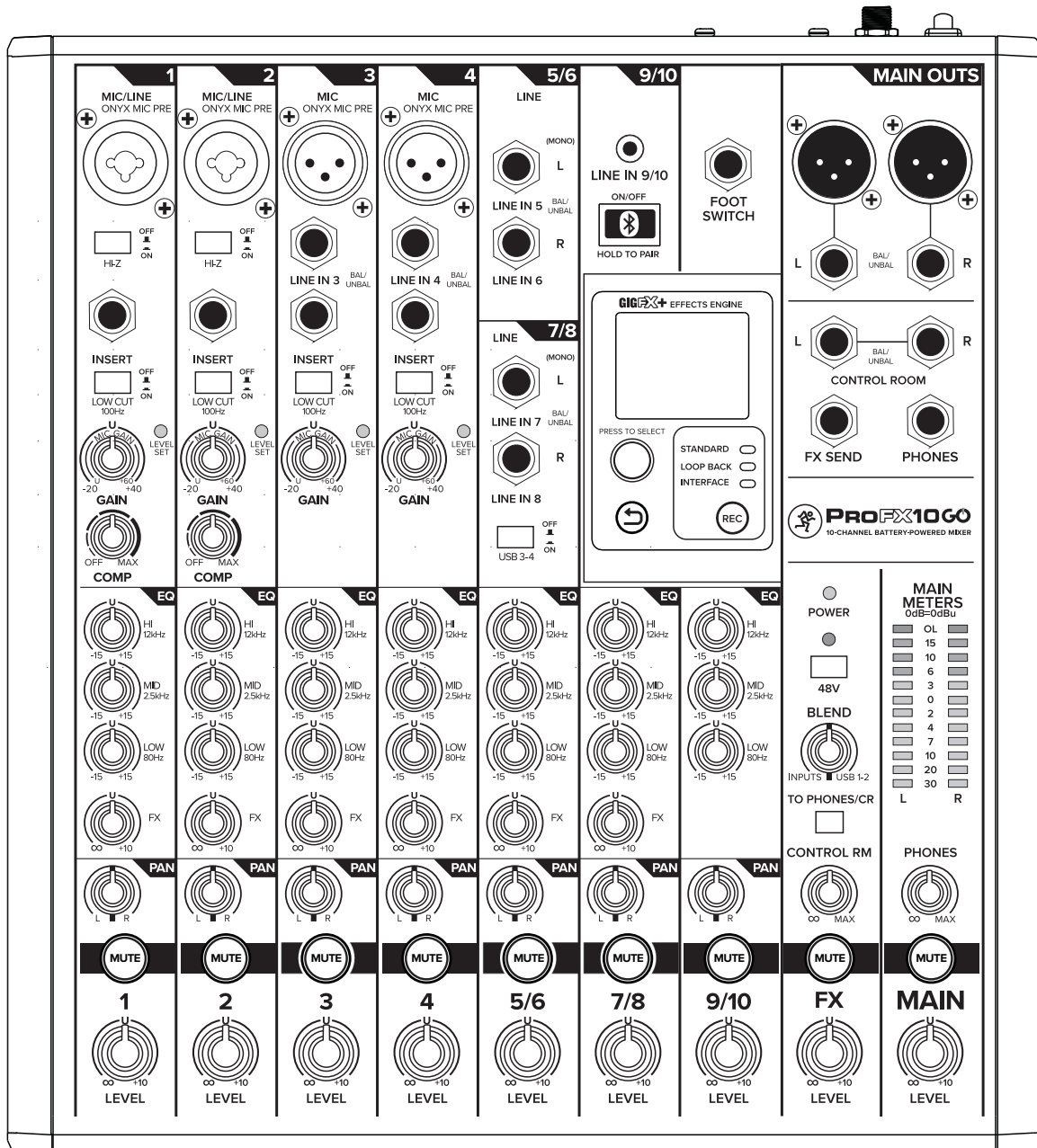




PROFX10GO

10-CHANNEL BATTERY-POWERED MIXER

クイックスタートガイド



重要な安全上の注意事項

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について



「必ず守ってください」という強制を表しています。



「絶対にしないでください」という禁止を表しています。



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。



禁止

大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



必ず実行

電源コードや電源アダプタは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、電源アダプタやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



禁止

水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



必ず実行

移動するときはケーブルを全て抜くこと

電源アダプタや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



必ず実行

電源アダプタや接続ケーブルは安全に配置すること

電源アダプタをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源アダプタが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



必ず実行

電源アダプタや電源プラグに異常がある場合は使用を中止し、修理を依頼すること

電源アダプタやプラグの摩耗、接触不良等の場合は本体を使用せず修理をご依頼ください。



禁止

本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



必ず実行

長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源アダプタを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



禁止

長時間にわたってヘッドフォンで大きな音量を聴かないこと

一時的または恒常的な難聴になる場合があります。



禁止

本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



禁止

電源アダプタを濡れた手でさわらないこと

感電の原因となる場合があります。

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



禁止

改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



必ず実行

他の機器と接続するときはこの製品の電源を切っておくこと

接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと

ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。



禁止

本体の換気用開口部を塞がないこと

本体内部の温度上昇を防ぐため、この製品の表面には換気用開口部があります。この開口部をふさぐと適切に換気ができず、内部の温度が上昇して故障や火災、誤作動の原因になる場合があります。



必ず実行

電源アダプタは必ずこの製品に付属のものを使うこと

適合しないものを使用すると通電中に電源アダプタが加熱し、火災の原因になる場合があります。



必ず実行

電源ソケットに手が届くよう設置すること

この製品の背面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源ソケットに簡単に手が届くよう設置してください。

**注意**

この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること

本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと

この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。



禁止

高温になる場所に設置しないこと

直射日光が当たる場所、熱を発生するものの近くに置かないでください。製品の上にもうそくなど裸火を置かないでください。



禁止

この製品に付属している電源アダプタをほかの電気用品に使用しないこと

この製品に付属している電源アダプタはこの製品専用のもので、ほかの電気用品には絶対に使用しないでください。



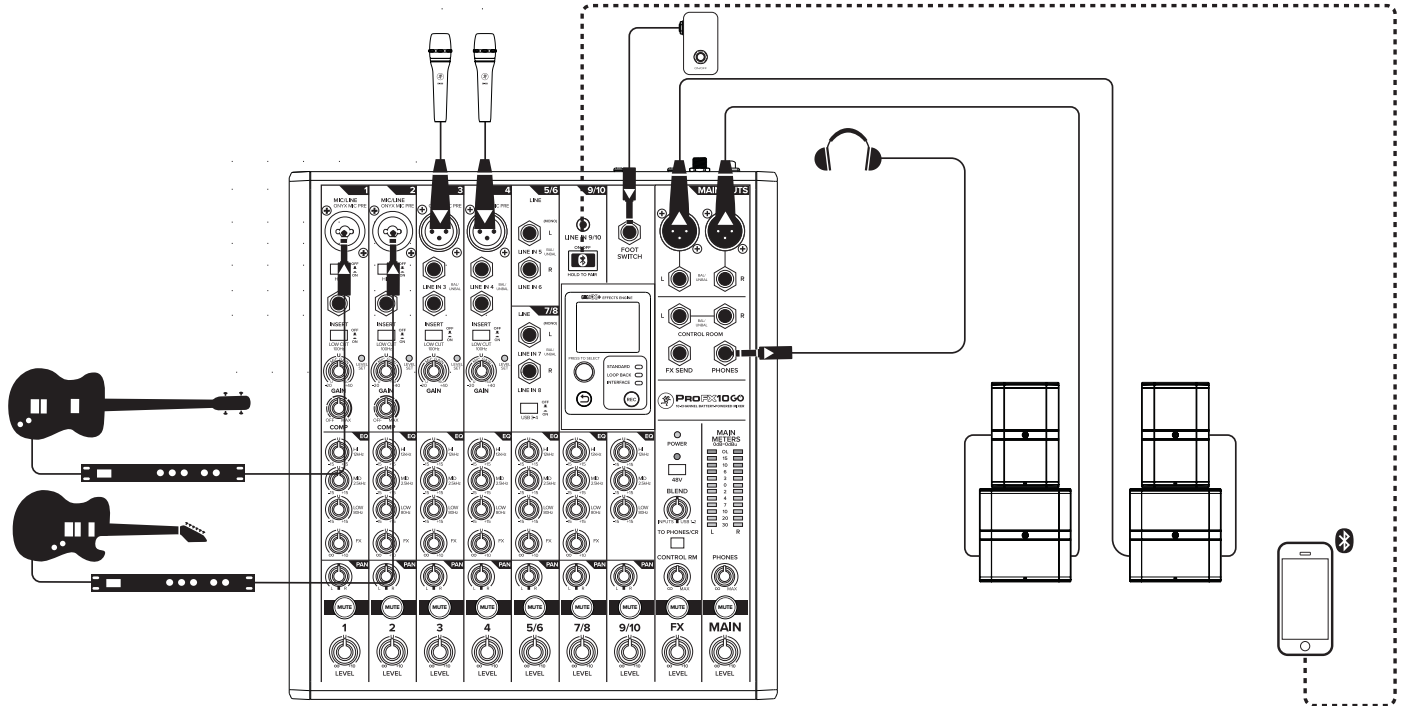
必ず実行

ファンタム電源は適切に操作すること

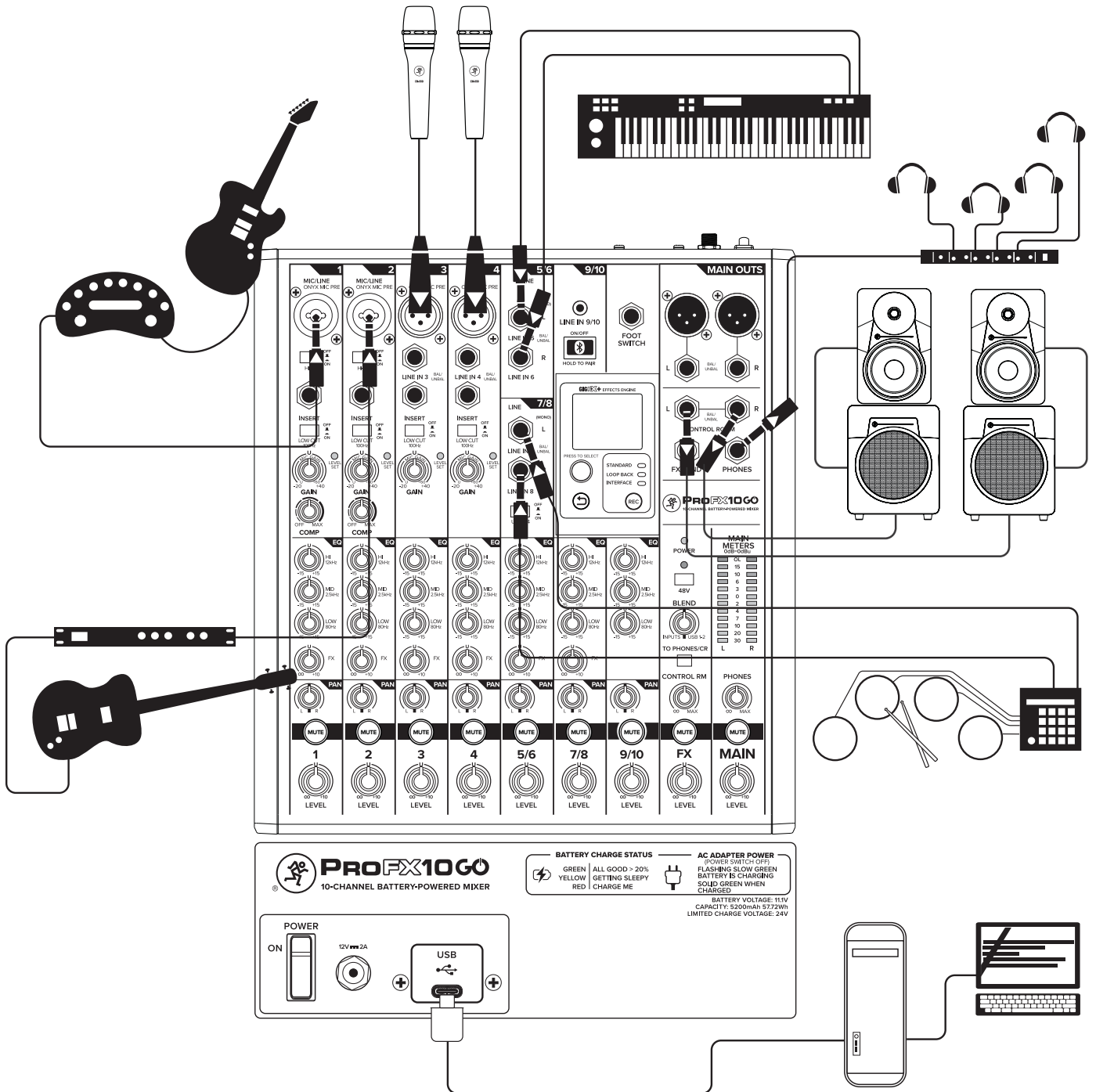
ファンタム電源は対応するコンデンサーマイクを接続したときだけ供給してください。ファンタム電源スイッチは接続しているアンプをミュートしてから操作してください。

接続図

ライブ音響システム



レコーディングシステム



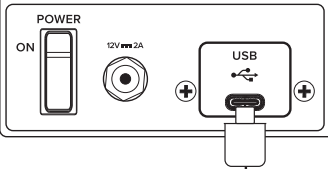
PROFX10GO
10-CHANNEL BATTERY-POWERED MIXER


BATTERY CHARGE STATUS

GREEN	ALL GOOD > 20%
YELLOW	GETTING SLEEPY
RED	CHARGE ME

AC ADAPTER POWER
(POWER SWITCH OFF)
FLASHING SLOW GREEN
BATTERY IS CHARGING
SOLID GREEN WHEN
CHARGED




BATTERY VOLTAGE: 11.1V
CAPACITY: 5200mAh 9.72Ah
LIMITED CHARGE VOLTAGE: 24V






PROFX10 GO
10-CHANNEL BATTERY-POWERED MIXER

BATTERY CHARGE STATUS

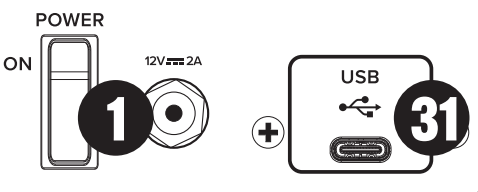
	GREEN	ALL GOOD > 20%
	YELLOW	GETTING SLEEPY
	RED	CHARGE ME



AC ADAPTER POWER
(POWER SWITCH OFF)
FLASHING SLOW GREEN
BATTERY IS CHARGING
SOLID GREEN WHEN
CHARGED

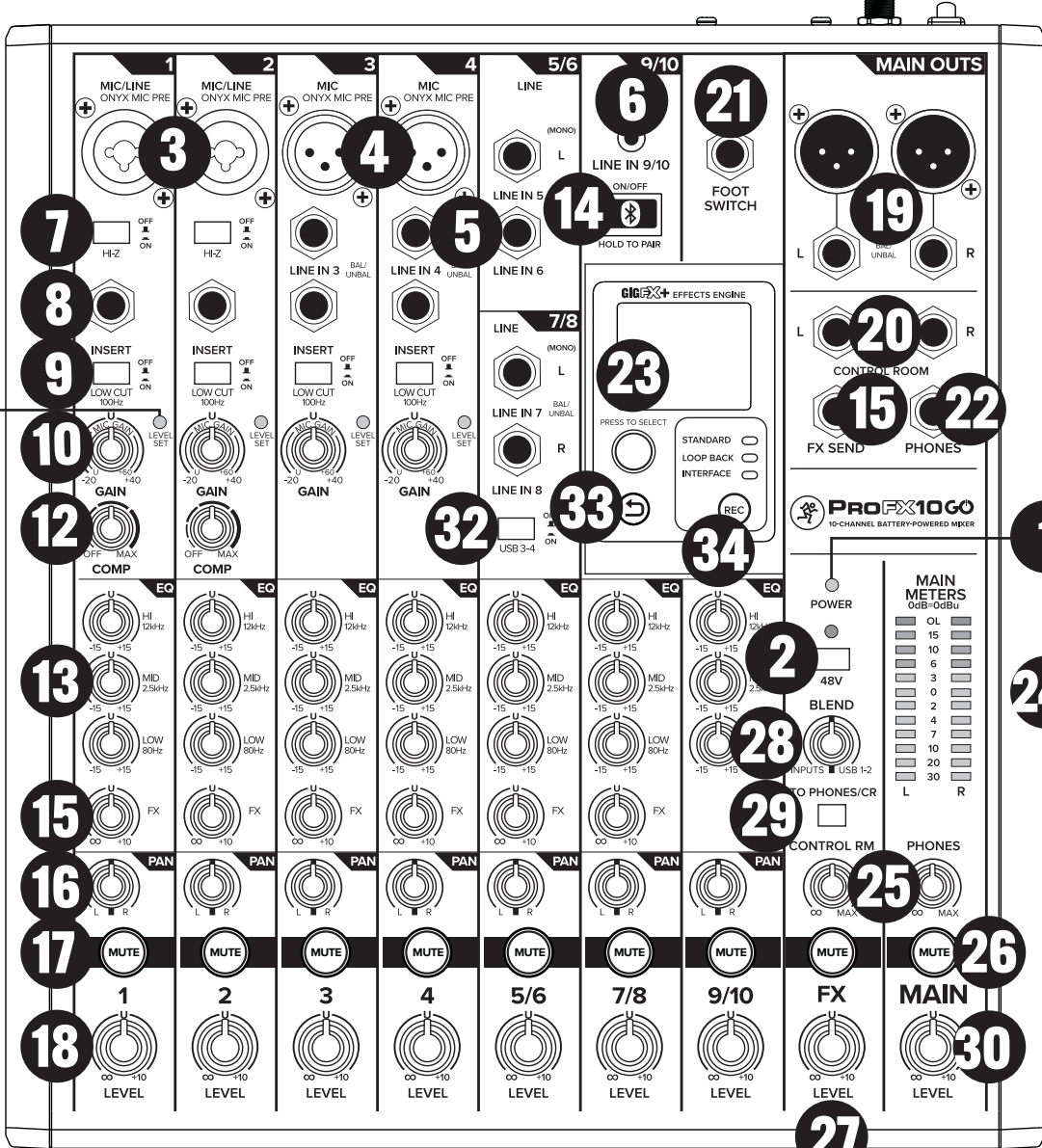
BATTERY VOLTAGE: 11.1V
CAPACITY: 5200mAh 57.72Wh
LIMITED CHARGE VOLTAGE: 24V

POWER



ON 12V 2A USB

1 **31**



The main mixer panel features 10 channels (1-10) and a FX channel. Each channel includes a MIC/LINE input with ONYX MIC PRE, HI-Z, INSERT, LOW CUT, GAIN, COMP, EQ (HI, MID, LOW), PAN, MUTE, and LEVEL controls. Channel 10 has a LINE input and a FOOT SWITCH. The FX channel includes a FX SEND, PHONES, and LEVEL control. The main panel also features a GIGAPACK EFFECTS ENGINE with a display and buttons for STANDARD, LOOP BACK, and INTERFACE. The right side includes MAIN OUTS (L/R), CONTROL ROOM (L/R), and PHONES. The bottom right features MAIN METERS (0dB-0dBu) and a POWER switch.

Numbered callouts (1-34) identify the following controls:

- 1: Power switch
- 2: Main Meters
- 3: MIC/LINE ONYX MIC PRE
- 4: MIC ONYX MIC PRE
- 5: LINE IN 4 UNBAL
- 6: LINE IN 9/10
- 7: HI-Z
- 8: HI-Z
- 9: INSERT
- 10: LOW CUT 100Hz
- 11: Channel 10 LINE IN 9/10
- 12: GAIN
- 13: COMP
- 14: LINE IN 9/10 ON/OFF
- 15: FX
- 16: PAN
- 17: MUTE
- 18: LEVEL
- 19: MAIN OUTS
- 20: CONTROL ROOM
- 21: FOOT SWITCH
- 22: PHONES
- 23: GIGAPACK EFFECTS ENGINE
- 24: Channel 10 LEVEL
- 25: PHONES
- 26: MUTE
- 27: Channel 10 LEVEL
- 28: EQ
- 29: EQ
- 30: MAIN LEVEL
- 31: USB-C port
- 32: GAIN
- 33: USB 3-4
- 34: REC

ProFX10 GO は誰もが簡単に使える製品です。
 ただ、ここには書ききれない機能もたくさんあります。そのため、もしこれ以上のことを知りたければ
 Mackie 公式サイトに掲載しているオーナーズマニュアルを参照することをおすすめいたします。

フロント & リアパネルの説明

- 電源端子 & スイッチ** 付属の電源アダプタをこのジャックに接続します。スイッチを使用して電源の ON/OFF を切り替えます。電源が ON の場合 POWER LED が点灯します。
- 48V ファンタム電源** XLR 入力端子に接続したマイクに 48V を供給します。全チャンネルの XLR 端子に同時提供します。ファンタム電源が ON の場合 48V スイッチ上の LED が点灯します。
- コンボ入力** XLR または 1/4" コネクタを使用し、バランス / アンバランスマイクまたは楽器、ラインレベル信号を接続します。マイクは必ず XLR 端子に接続してください。1/4" フォン端子はマイクレベル非対応です。
- XLR 入力** XLR コネクタを使用し、バランスマイクまたはラインレベル信号を接続します。
- ライン入力** 1/4" コネクタを使用し、バランス / アンバランスラインレベル信号を接続します。マイクは必ず XLR 端子に接続してください。1/4" フォン端子はマイクレベル非対応です。
- 1/8" 入力** スマートフォン、MP3 プレイヤーなどの 1/8" ラインレベル信号を接続します。
- Line/Hi-Z スイッチ** ch 1 ~ ch 2 の 1/4" フォン端子にギターやベースなどハイインピーダンス楽器を接続した場合、このスイッチを押してください。
- INSERT** コンプやゲートなどチャンネルインサートしたいダイナミクス系 FX を 1/4" Y ケーブルで接続が可能です。1/4 モノラルプラグを半刺しすることでマイクブリ直下の音を出力させることも可能です。
- LOW CUT スイッチ** 18 dB / oct の傾斜率で 100Hz 以下の低域周波数をカットします。
- GAIN** マイク / ライン入力の入力感度を調整します。
- LEVEL SET LED** 接続した音源を再生しこの LED が常時緑に点灯する程度まで⑩の GAIN を上げてください。赤色に点灯する場合は⑩の GAIN を下げてください。
- COMP(コンプレッサー)** 入力信号を均一化させるために使用します。
- イコライザー** HI/MID/LOW の周波数をそれぞれブーストやカットでき、音質を向上させます。
- Bluetooth ON/OFF & ペアリングスイッチ** Bluetooth チャンネルの ON/OFF を切り替えます。長押しし、このボタンが素早く点滅している間に Bluetooth デバイスとペアリングします。静電気放電 [ESD] の影響を受けると Bluetooth 接続が途切れる場合があります。その際は再度 Bluetooth ペアリングを行ってください。
- Aux FX & FX Send** FX send ジャックを通して内部 FX または外部プロセッサに供給します。この出力は各入力 ch の LEVEL に影響を受けるポスト LEVEL OUT です。
- PAN** 各入力チャンネルの信号を左右の出力に送る量を調整します。
- MUTE** 各入力チャンネルの信号をミュートします。ミュートスイッチが ON になっている場合、ボタンが点灯します。
- チャンネル LEVEL ノブ** 各入力チャンネルの信号をメインミックスに送るレベルを調整します。
- MAIN OUTS L/R** パワーアンプ、パワードスピーカーまたはシリアルエフェクトプロセッサの入力に接続します。
- CONTROL ROOM L/R** コントロールルームアンプ、スタジオモニターまたはヘッドフォン分配アンプの入力を供給します。詳細下記※ご参照ください
- FX FOOT SWITCH** フットスイッチを接続し、内部エフェクトのミュート / アンミュートをコントロールします。
- PHONES** ステレオヘッドフォンと接続します。詳細下記※ご参照ください
- プリセットセレクター & ディスプレイ** ノブを回してエフェクトを選択します。ディスプレイには現在使用中のプリセット番号が表示されます。
- MAIN METERS** 入力と出力のレベルを表示します。信号にクリッピングが起きていないかを確認できます。
- CONTROL RM/PHONES** コントロールルームまたはヘッドフォンのレベルを調整します。詳細下記※ご参照ください
- MUTE スイッチ** MAIN OUT の出力をミュートします。ミュートスイッチが ON になっている場合、ボタンが点灯します。
- FX リターンノブ** メインミックスに追加されている内部 FX プロセッサからのステレオ出力のレベルを調整します。
- BLEND ノブ** チャンネル入力 (左) と USB 1-2 リターン (右) のバランスを調整します。詳細下記※ご参照ください
- TO PHONES/CR スイッチ** 入力と USB1-2 のミックスを CR/Phones 出力に送ります。このボタンが ON になっているときは CONTROL ROOM/PHONES からはメインミックスの音は再生されず各入力 ch のダイレクトアウトと USB1-2 にアサインされた音源が再生されます。詳細下記※ご参照ください
- MAIN ミックス** メイン出力に送られる信号のレベルを調整します。
- USB I/O** この 2×4 インターフェースにコンピューターを接続し、ミキサーに音を入出力します。詳細下記※ご参照ください
- USB 3-4 スイッチ** スイッチを押すと 1/8" 入力がミュートされ、USB3-4 にアサインされた音源が ch 7/8 にアサインされます。詳細下記※ご参照ください
- 戻るボタン** ⑬のプリセットセレクター & ディスプレイで設定している作業を前の画面に戻る際にこのボタンを使用します。
- REC ボタン** USB 出力レコーディングモードを切り替えるボタンです。スタンダード (エフェクト付きのフルミックス)、ループバック (ストリーミング用にパソコンからの音源をミックス)、インターフェース (エフェクト処理をバイパスしたチャンネル 1-2 の録音)

※TO PHONES/CR スイッチの ON/OFF で PHONES OUT、および CONTROL ROOM OUT から再生される音がわかります。詳細下記 URL ご参照ください。
<https://mackie-jp.com/enews/?p=11373>

クイックスタート

1. P.2-3 の重要な安全上の注意事項を読み、理解してください。
2. チャンネル EQ と PAN ノブ以外のすべてのノブを左に回しきってください。
3. チャンネル EQ と PAN ノブは真ん中にセットしてください。(真ん中に合わせるとカチッとした感覚があります。)
4. すべてのスイッチを OFF の状態にします。
5. MAIN OUTS からパワードスピーカー (またはパッシブスピーカーと接続したアンプ) に配線をします。
6. 電源アダプタをミキサーのコネクターにしっかり押し込み、反対側を AC コンセントに差し込みます。当モデルは 100V 専用モデルです。日本国外での使用はできません。
7. ミキサーの電源を ON にします。
8. スピーカー (またはアンプ) の電源を ON にします。
9. 音源をミキサーに接続します。以下は一例です。
 - ・マイク入力に接続したマイク(コンデンサーマイクを XLR 端子に接続した場合のみファンタム電源を ON にしてください。その他の機器を接続しファンタム電源を ON にすると接続した機器が故障する場合がございます。)
 - ・キーボード、ドラムマシーンまたは CD プレイヤーなどのラインレベル音源
 - ・Bluetooth 接続したスマートフォン
10. 入力音源のボリュームは、必ず通常使用時と同等にしてください。
11. 入力したチャンネルの LEVEL を "U" [Unity Gain] の位置にまで回します。
12. LEVEL SET の LED が常時緑に点灯するまで GAIN ノブを上げてください。
13. MAIN METERS が 0 付近を表示するまで MAIN LEVEL を徐々に上げてください
14. 他のチャンネルに接続する場合、9 から 12 の作業を繰り返してください。

バッテリーの使用について

ProFX10 GO に付属のリチウムイオンバッテリーを使用すれば、コンセントに接続せずミキサーを楽しむことができます。高価なバッテリーを購入する必要もありません。屋外でのライブやライブストリーミングなどで活躍します。



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本書を全て読み、必ず指示に従うこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。誤った方法で使用すると爆発のおそれがあります。



禁止

高温になる場所に設置しないこと

直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上でろうそくなど裸火を置かないでください。



必ず実行

バッテリーの交換時は規格に注意すること

必ず純正のバッテリーを使用してください。



必ず実行

バッテリーを無理やり押し込まないこと

取り付け方法を読み、指示のとおりに取り付けてください。正しく取り付けた場合、抵抗を感じることはありません。

バッテリーの取り外し：

1. ProFX10 GO の電源を切り、コンセントからプラグを引き抜きます。柔らかく平らな場所に、本体を上下逆さに設置します。
2. 指で緑色のタブを外側に向かってスライドさせます。これによりバッテリーカバーのロックが解除され、左の図のようにカバーが開きます。
3. バッテリーカバーを取り除き、取り外しが完了するまで大切に保管してください。再度取り付ける際に分かりやすいように、取付方向を覚えておくと良いでしょう。



4. バッテリーを取り外します。指やつめを使うだけで簡単に取り外しができます。無理に取り外さないでください。破損や故障の原因となります。
5. 緑色のタブの近くに小さな切れ込みがあります。ここに指やつめを当て、バッテリーを注意深く持ち上げます。
6. バッテリーは自由の身となりました。



バッテリーの取り付け：

1. バッテリーとバッテリーカバーを取り外したら、取付に取り掛かりましょう。
2. 前のページの画像の、緑の○で囲まれた部分には電源コネクタがあります。バッテリーの電源コネクタ（左図の○で囲まれた部分）と本体のコネクタが重なるようにゆっくりとバッテリーを差し込みます。
3. このとき力を込める必要はありません。抵抗を感じる場合には、誤った方法で取り付けていることになります。その場合、前のページの画像を確認し、バッテリーの取付方向などを確認してください。
4. バッテリーを差し込んだら、バッテリーカバーを差し込み、カチッと音がするまで押してください。



USB ケーブルを使用して充電することもできます。バッテリー側には USB-C 端子、電源アダプタ側は USB-A 端子のついた USB ケーブルと USB-A 端子対応の電源アダプタ (12W) を別途ご用意ください。本体に取り付けているバッテリーは、本体をコンセントに繋いで使用している間にも充電されます。

バッテリー仕様：

- 11.1V, 5200mAh 57.72Wh, 24V
- 寸法：127 mm×76 mm×22 mm

バッテリーの充電：

上の画像で□で囲まれている部分には、USB-C 端子と LED があります。この USB-C 端子に USB A to C ケーブルと USB-A 端子対応電源アダプタ (12W) を使用すると、バッテリーを本体に格納していないときにも充電することができます。LED は、下記のようにバッテリーの充電ステータスを示します。

- 緑色にゆっくりと点滅 充電中
- 緑色に点灯 充電完了

ProFX10 GO	
ノイズ	<p>等価入力ノイズ (EIN) (150Ωソースインピーダンス, 20 Hz - 20 kHz) マイク→INSERT センド出力, 最大ゲイン: -126 dBu</p> <p>残留出力ノイズ 全出力, マスター & チャンネルレベルオフ: -95 dBu 全出力, マスターレベルユニティ, 1 ch レベルユニティ: -80 dBu</p>
周波数特性	マイク入力→任意出力 (ゲインユニティ): +0, -1 dB, 20 Hz - 30 kHz
歪率 (THD+N)	(22 Hz - 80 kHz) マイク入力→MAIN 出力 (+4 dBu): <0.02%
アッテネーション, クロストーク (20 Hz - 20 kHz)	隣接入力間 @ 1 kHz: -90 dB 入力→出力 @ 1 kHz: -80 dB フェーダーオフ @ 1 kHz: -75 dB
	MUTE スイッチ / BREAK スイッチミュート @ 1 kHz: -90 dB
最大レベル	全入力: +22 dBu MAIN ミックス XLR: +28 dBu 他全出力: +22 dBu
USB	フォーマット: USB 2.0, MAIN OUT USB1-2, USB1-2 入力 (ダイレクトモニタリング) USB3-4(入力 CH7/8) A/D/A: 24 bit, 44.1 kHz, 48 kHz, 96kHz, 192kHz
使用時温度	0-40° C // 32-104° F
AC 電源	出力: 12V 2A 入力: 100VAC-240VAC, 50-60 Hz, 0.8A
バッテリー仕様	11.1V, 5200mAh 57.72Wh, 24V
寸法 (H × W × D)	ProFX10 GO 本体: 97×269×292 mm GB-10 リチウムイオンバッテリー: 127×76×22 mm
重量	ProFX10 GO 本体: 2.7 kg GB-10 リチウムイオンバッテリー: 0.34 kg

予告なく仕様変更する場合がございます

修理 / 保証 / サポートについて

修理について

日本国内仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- 弊社ホームページ (www.otk.co.jp) の「修理依頼」より「REPAIR カード」をダウンロードしてください。「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、FAX (03-5534-6783) もしくはメール (repair@otk.co.jp) でお送りください。折り返し修理受付番号と製品送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナーズマニュアルと電源コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。
- 修理状況によっては見積もり金額が変動する場合があります。
- 修理をキャンセルした場合、キャンセル料が発生する場合があります。予めご了承ください。

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。

保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- お買い上げ後の輸送 / 移動 / 落下 / 異物液体混入などによる故障および損傷
- ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損害

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは以下の通りです。

音響特機 Mackie カスタマーサポート

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1 CSS ビルディング 5F

FAX: 03-3639-7801

Email: support_mackie@otk.co.jp

故障 / 修理や保守についてのお問い合わせは以下の通りです。

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1 階 B 棟

株式会社日本システムサービス内

FAX: 03-5534-6783

Email: repair@otk.co.jp

営業日: 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日: 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

www.mackie-jp.com

